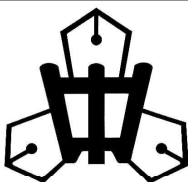


根山麓

【校訓】
学愛磨
向友錬【キャッチフレーズ】
こう学，しゅう中，くり
ーんアップの小宿中
【向学に燃え意欲を持ち集中して物事に
挑みクリーンアップに取り組む小宿中】

「歴史に学び、正しい理解を」

校長 川井 功作

「歴史に学び、正しい理解を」

ハンセン病問題を正しく理解する週間（21～27日）。奄美市の名瀬総合支所では20日から、ハンセン病問題の歴史をたどる資料、県内療養所の入所者のメッセージや絵画作品などが並び、ハンセン病に対する誤った認識が生んだ悲劇や差別の歴史を紹介。元患者や関係者が減少する中、病気の正しい理解と継承の重要性を訴えている。28日まで。〔南海日日新聞から一部抜粋〕

21世紀は「人権の世紀」と言われます。人権問題について知識理解を深め、さらにその上に確かな人権感覚を身に付けることが大事になってきます。様々な人権問題の中で、「ハンセン病問題」があります。皆さんご存じでしょうか。

ハンセン病とは、1873年にノルウェーのハンセン博士が発見したライ菌の感染によって、主に皮膚や筋肉に張り巡らされた神経などが冒される病気です。つまり、ライ菌による感染症です。感染し発病することは極めてまれです。治療薬により治ります。早期に治療すれば、身体に障害が残ることはありません。しかし昔は、「らい」とか「らい病」とか言われ、恐ろしい伝染病のように思われてきました。

1907年（昭和6年）「らい予防法」という法律により長い間、国の強制隔離政策がハンセン病への偏見と差別を助長し、患者の方々は想像を絶する苦難を強いられました。療養所へ強制的に入所させられ、子どもを持つことも許されず、また、故郷の家族に差別が及ぶ危惧から、本名を名乗ることすらできない人も大勢いました。89年間続いた「らい予防法」は1996年（平成8年）に廃止になりましたが、社会や家族との断絶により療養所の外には頼る人も受け皿もなかったことが社会復帰をより困難にしました。現在でも多くの方が療養所で暮らしています。いまだ社会のハンセン病に対する根強い偏見・差別が解消されていないのです。

このように、ハンセン病の歴史をたどると、時代に翻弄され国の誤った政策によって偏見・差別が拡大していったということがわかります。過去は戻らないけれども、これからの時代、二度と同じ過ちが繰り返されないために、そして根強い偏見・差別を解消し、回復者の方々が地域との絆を再びつなぐために、ハンセン病であった方々が受けた差別や人権侵害の歴史について、正しく理解し、みんなで学び考え、ともに生きていく地域づくりのため行動することが求められているのです。

「有屋のサロン」と呼ばれた人たち（奄美の歴史から一部紹介）

国立ハンセン病療養所の12番目として1943年に開園した奄美和光園。開園当初は医師・看護師・職員の人員不足、病棟・生活棟は十分な設備が整わないまま、衛生状態も悪い状況が続きましたが、1953年頃から新たな治療棟建設や人員不足解消など、療養所環境が整い始めました。医師の一人で国のハンセン病強制隔離政策に反対した小笠原登氏は、第6代馬場省二園長の要請で1957年に医師として就任します。翌年に画家である田中一村氏が和光園を訪問しました。和歌や俳句、書画を得意とする登氏と一村はすぐに意気投合し、一村氏は官舎の一室で生活するようになり、園内で絵画活動に専念しました。しばらくして園の一室には人が集うようになり、その姿を多くの入所者の方が見ておられました。2013年11月16日国立療養所奄美和光園創立七十周年記念講演が開催され、一村氏の研究調査を続けている美術評論家の大矢鞆音氏が「奄美和光園と田中一村、奄美作品揺籃の地」と題して講演されました。氏は園内の一室に集う人々の姿を「有屋のサロン」と評し、一村氏の奄美大島作品が生まれるひとつに奄美の自然と奄美和光園の環境があったと話されました。

○小宿中生の学び

感動の合唱コンクール

5月29日(金)に合唱コンクールを開催しました。各学年の課題曲に挑戦し、最高のハーモニーを奏でました。

最優秀賞 3年2組

優秀賞 1年1組、3年1組

最優秀指揮者賞 大瀬謙心

最優秀伴奏者賞 外園蓮人



民生委員との対面式

6月16日に、全校朝会で、地域の民生委員の方々の紹介がありました。

いつも、温かい声かけありがとうございます。これからも、よろしくお願いいたします。



進路を深める先輩講話

6月19日、本校卒業生が進路についての話をしてくれました。知らないことをたくさん知り、将来の自分の進路について、考える機会となりました。



○地区総体結果一覧

★野球部(古仁屋中合同)

〔2回戦〕 対 赤木名・名瀬・笠利中 3-4

★サッカー部(金久中合同)

〔予選リーグ〕 対 朝日中 0-5

対 Tokunoshima Unite 0-2

★女子バレー部

〔予選リーグ〕 対 与論中 0-2

対 朝日中 0-2

〔敗者復活戦〕 対 天城中 2-0

〔決勝トーナメント〕 対 和泊中 0-2

★女子バスケットボール部

〔予選リーグ〕 対 古仁屋中 32-59

対 名瀬中 27-67

★男子バスケットボール部

〔予選リーグ〕 対 古仁屋中 54-53

対 喜界中 87-50

対 朝日中 50-27

対 知名中 35-55

祝・準優勝

〔準決勝〕

〔決勝〕

《※準優勝・県総体出場》

★剣道 男子個人7位, 女子個人6位

↓クラブチーム参加 ※本校生徒所属チーム

★男子バレー(LeLien)〔予選リーグ〕 対 和泊中 0-2

対 亀津・井之川中 0-2

★サッカー〔TSC 奄美〕

〔予選リーグ〕 対 古仁屋・諸鈍中 2-1

対 伊仙 SC 1-1

〔準決勝〕 対 TFA 2-1

〔決勝〕 対 朝日中 0-2 《準優勝》

★陸上競技(※入賞者紹介)

〔男子の部〕

1年100m 第2位 川畑航晟 12秒86(県総体出場)

第4位 森 遼左 13秒66(県総体出場)

共通800m 第5位 元山源太 2分11秒77

低学年4×100mリレー

第4位 隈元・森・島田・荒田 55秒71

共通4×100mリレー

第6位 荒田・碩・五味・小門 49秒99

〔女子の部〕

共通4×100mリレー

第4位 榊・大山・久保・金井 58秒07

《7月行事予定》

1日(水) 保健教室(2年)
3日(金) 学年学級PTA
8日(水) 防犯教室
10日(金) 高校めぐり(3年)
17日(金) 終業式
21日(月)～ 県総体

《8月行事予定》

12日(水)～14日(金) 学校閉庁日
21日(金) 出校日

※9月1日 始業式



〔話題〕 先日、奄美市4校合同(小宿・金久・名瀬・朝日)生徒会保体部オンライン会議がありました。SNSの利用について、熱中症対策、歯の治療についてなど、中学校生活に大切なことが話し合われました。4校合同で、いろんな取組ができそうです。素晴らしい取組です。